

令和2年度「学校における働き方改革推進会議」 議事概要

日時：令和3年3月22日（月） 16：00～17：15

場所：教育委員室（奈良県庁東棟）

出席：前田会長、香河会長代理、大石委員、堀内委員、松浦委員、原井委員、上田委員、土居委員、中川委員、熊谷委員、上島委員、山本代理、中井委員、清水代理、岡田代理

1 開会

○説明

「学校における働き方改革推進会議」設置要綱等について

学校の業務改善に関する推進方策に関することなど、学校における働き方改革に係る課題や取組について意見交換を行うことを会議の目的とし、今年度は、令和2年度の取組状況と今後の展開を主なテーマとして協議を行うことを事務局から説明した。

2 報告・協議

(1) 「令和2年度 教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査」【結果概要】について

取組状況調査結果概要を基に事務局より報告を行った。

【主な意見】

- ・学校の働き方改革について、関心が深まったと感じる。しかし、超過勤務等について、数値的には改善されたが、実態・実質的には変わっていないのではないかと。詳細を見ていく必要がある。
- ・意識が高まり学校における働き方改革が定着してきていると感じる。特に、スクールサポートスタッフの導入が効果を上げている。校務支援システムを有効に活用することで効率よく校務を進めることができている。

(2) 今年度の取組状況と今後の展開について

事務局より配付資料④の説明の後、今後の展開について事務局各委員より報告があり、その後、市町村及び各学校代表の委員より意見をいただいて協議を行った。

【主な意見】

- ・プランは令和3年までの取組となっているが、次の展開について考えなければならない。意識が薄れてしまわないかという懸念がある。市民への啓発という点で、保護者に向けてリーフレットを出したことには、大きな意味があるが、継続して

メッセージを出していく必要がある。

- 部活動について、地域移行が本当にできるのか、指導者がいるのかといったことを解決しないと、部活動を担当する教員の負担は減らないのではないかと。
- 啓発リーフレットが役に立った。保護者への配付後、苦情などもなく、中身のあつなものとして評価している。しかし、部活動の地域移行や学校を通じた配布物への配慮など、周知しきれていないものもあるのではないかと。
- コロナ禍が GIGA スクール構想を推進することにつながった側面もある。たとえば、Google のサービスを使ってアンケートを行うなど、配備された端末を活用することで働き方改革につなげることができた。
- コミュニティ・スクールを全市で導入し、地域人材の活用を進めているが、その際にもスクールサポートスタッフを有効に活用できている。
- 教員が、働き方改革の意味をしっかりと認識する必要があると感じる。3 学期から 1 人 1 台の端末が整備され、学び方が変わってきている。教員の声掛けや発想力が大事。いかに機材を上手に子どもたちの学びの中に生かしていくのか、教員の指導力を高めていく必要がある。
- コロナ禍により、行事の精選のきっかけになったことも確か。部活動は生徒の生き方を見ていく側面もあることから、部活動の在り方や働き方改革については、まだまだ時間がかかると感じる。
- コロナ禍ということもあり、本年度のデータをこれまでのデータと単純に比較することは難しいのではないかと。在宅教育期間が長かったことや新しいツールの導入等により、学校の情報管理者に負荷がかかっていた。
- コロナ禍によって導入されたフレックスタイム制が教員の働き方によい影響を与えた面がある。また、変形労働時間制の導入については、フレキシブルな使い方ができるように進めてほしい。
- 学習支援員の配置は学校によっては有効であった。年度当初から入れるようにしていただくとありがたい。部活動外部指導員の増加もお願いしたい。
- コロナ対応の一環として電話の回線を増やし、留守番電話を導入した。緊急時は学校用の携帯電話を利用する。職員室の密を避けるため、職員朝礼を廃止し、メールや掲示板で連絡事項を伝えた。朝の時間ができた分、教材研究等に充てられている。Google のサービスを使って職員朝礼を行っている学校もある。
- 会議の終了時間を明確にして協議のみとしたり、全員で校務支援システムを使う時間をつくることで効率よく進め、その後、子どもや授業のことについて協議する時間をとるなどしたりして工夫している。
- 保護者への啓発はメールで対応できるが、地域向けの啓発資料は地域へ届かないと意味がないので工夫をお願いしたい。

【協議結果】

今日の意見を踏まえて次年度の取組に活かしていくことを確認した。

(3) その他

特になし

3 連絡事項

- ・来年度の会議の開催について確認。